

みたけじんじゃほんでん  
御嶽神社本殿

瑞穂町指定有形文化財

所在地：瑞穂町石畑 1848 番地



この本殿は御嶽神社境内の  
竝堂さやどうの中に安置されていま  
す。総ひのき 桧材で、一間社、  
入母屋造。正面は千鳥破風  
付、こけら葺ぶきご向はいのき 拝軒、唐破風  
付となっており、その彫刻  
の見事さは目を見張るもの  
があります。総高3mで、軸  
部は亀腹かめはらの上に建ち、丸桁  
(垂木を支える横材)は下  
から斗棋ますぐみを除き、壁面はも  
ちろん勾欄こうらんの手摺から台座

に至るまで、彫刻が施されています。棟札には、旧石畑村下郷の棟梁、  
鈴木ひろとみ広宝が天保12年(1841)2月に着工し、その後、弘化2年(1845)4  
月に完成したことが記されています。

附帯指定として、次の記銘物がある

- ①享保八年九月奉納 木きほこ 鐸
- ②弘化二年四月再建 棟むなふだ 札
- ③明治元年十一月 社名変更に関する木札
- ④御嶽神社御本社 正面建地割之図、妻建地割之図 各一葉